

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／3月20日(木・祝) 13:00~16:00
- 場所／きび保健福祉センター

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

総務課 (吉備庁舎)

電話 22-3291

ファクス 52-3210

「はて？」と思う 気持ちを大切に

「はて？」は、昨年の朝ドラ「虎に翼」で主人公の女性が、女性蔑視などの現状に疑問を感じたときに発する言葉でした。

話は私の子ども時代にさかのぼりますが、小学校の高学年の社会の授業で江戸時代の歴史を学んだとき、先生が「どうして身分が士農工商の順になっているのだろう。」と発問され、私は真剣に考えたのを覚えています。士農工商は、最近では教科書に記載されなくなりましたが、当時の先生は、「農民は人数が多く一揆などを恐れて二番目。商人はお金を持っていて権力を持つのを恐れ、たから一番下。支配する者が支配しやすいような仕組みを作ったのだろう。」と話してくださり、子ども心に「なるほど。」と思いました。

それから、毎週祖母と一緒に見ていたテレビ番組の「水戸黄門」に、「はて？」と疑問を感じるようになりました。最後の場面で、「この紋所が目に入らぬか！」と助さん格さんが印籠を見せて悪代官を懲らしめるのはとてもスッキリして気持ちが良い

のですが、これもまた身分差別を利用したものではないだろうか、と考えるようになりました。でもやはり「水戸黄門」は面白く、見続けました。

話は現在に戻ります。昨年の9月、人権機関有田川の理事会で、秋祭り子どもみこしのことが話題になりました。昔からの伝統で、男子と女子の役割が違ふという話がある一方で、時代と共に男女関係なく参加できるようになってきた行事もあるという話も出されました。大相撲や高野山参拝のことも話題に上がり、伝統を重んじながらも時代は変化していると感じました。

それは、生活の中で常に誰かが「はて？」と思う気持ちを持ち続けてきたこととも影響しているのではないのでしょうか。日常の当たり前の生活の中で「はて？」と思う気持ちを大切にしたいと思っています。

人権機関有田川理事 小田 浩子

カスタマーハラスメント

カスタマーハラスメントとは、顧客などからのクレーム・言動のうち、①過大な要求や不当な言いがかりな

ど、主張内容などに問題があるもの、②主張する内容には正当性があるが暴力や暴言など、主張方法に問題があるものなどが考えられます。

「令和5年度厚生労働省 職場のハラスメントに関する実態調査」によると、約3割の企業が、カスタマーハラスメントについて従業員から相談があったとされています。一人一人が、カスタマーハラスメントの行為者にならないよう気を付けましょう。また、事業所においては、従業員を守るために対策を講じましょう。

【①の例】

- ・ 契約内容を超えた過剰な要求
- ・ 言いがかりによる金銭の要求

【②の例】

- ・ 身体的な攻撃(暴行・傷害)
- ・ 精神的な攻撃(脅迫・中傷・名誉毀損・侮辱・暴言)
- ・ 繰り返される執拗な言動
- ・ 拘束的な言動(居座り・監禁)
- ・ 土下座の要求

